

命の水

東京学芸大学附属小金井小学校 二年三組

浅野 智太郎

ぼくの家には、水道のじゃ口が七個あります。台所、おふろ場、トイレ、ちゅう車場、庭にじゃ口があつて、せんをひねるとききれいな水が出ます。外に出かけても、水道のじゃ口はたくさん見つかります。公園、図書館、駅、小学校、博物館。かん単に、いつでも、つめたくて、きれいで、おいしい水が飲めます。

でも、この前、ニュースで「熱中症でなくなつた人がいる」と知りました。ぼくはとてもおどろきました。なんで水を飲まなかつたんだらう。どこでもじゃ口があるし、ただで水は飲めるのに。ふしぎに思つて、お母さんに聞いてみました。お母さんは、「か死よりも、熱中症でなくなる人の数はすつと多いのよ」と教えてくれました。

ぼくは、前にテレビで、外国の砂はく地方
の人が、水を遠くの井戸から運ばなくてはな
らなくて、とても苦労しているのを見たこと
がありました。でも日本にもかん単に水が飲
めなくて、なくなる人もいたなんて、初めて
知りました。水を飲みたいのに、飲めないな
んて、遠くの上の国だけのことかと思っ
ていました。

つきにぼくは、熱中症について、本や図か
んで調べてみました。それによると、人体の
五十〜九十%は水できているそうです。熱
中症は、体の中の水がたりなくなると、体温
が上がり、体の中のバランスがくずれて、
さい後には死んでしまったり、ひどい病気が
さす。人間は水があれば食べ物がなくても二
三週間は生きられるけれど、水がないと四
五日で死んでしまったりです。
水はとても大切で、水がないと人間は生き
ていけないんだ。日本にはたくさん水道がな
がれていて、いつでもどこでも、かん単に

水が飲めるように見えただけで。でも日本にもないか理由があって、水を飲みたくても、飲めないで、熱中症になってなくなる人がいたんだ。

ぼくは、前は水はただだから、せつやくしなくてもいいと思っただけ。水道のレジャーもきちんとしめながら、たくさんひねってピコ〜と水を出して遊んだこともありません。でも、今はちがいます。水は子ちゃんも、なんだ、大切なんだ、とわかりました。水がないと、人間は生きていけないこともわかりました。だから、かんしゃして、まい日大切にしよう、と思います。